

**連携と
協働の原則**

市民・事業者の皆さんと双方向で意見や情報の交換ができる場として「タウンミーティング」を開催するとともに、自主的な減量行動の支援（資源集団回収の組織づくりなど）のための協議・調整など「コーディネーター」としての役割を担います。

1 タウンミーティング等の実施状況

平成20年度についても、地域などでの研修会、ごみゼロリーダー学習会の実施などにより、地域住民との直接対話による情報提供や意見交換を行いました。

また、子どものころから環境やごみについての関心を高めていただくため、小学4年生を対象に作成・配布している社会科副読本『ごみと社会』を活用して、職員が小学校などに出向き行っている体験学習や、焼却工場などの施設見学の受け入れにも積極的に取り組んでいます。



小学校で実施した体験学習

■実施状況

| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| タウンミーティング等 | 921回 | 192回 | 454回 | 249回 | 155回 |
| 体験学習 | 56回 | 128回 | 157回 | 211回 | 234回 |

容器包装プラスチック
全市実施の説明会等

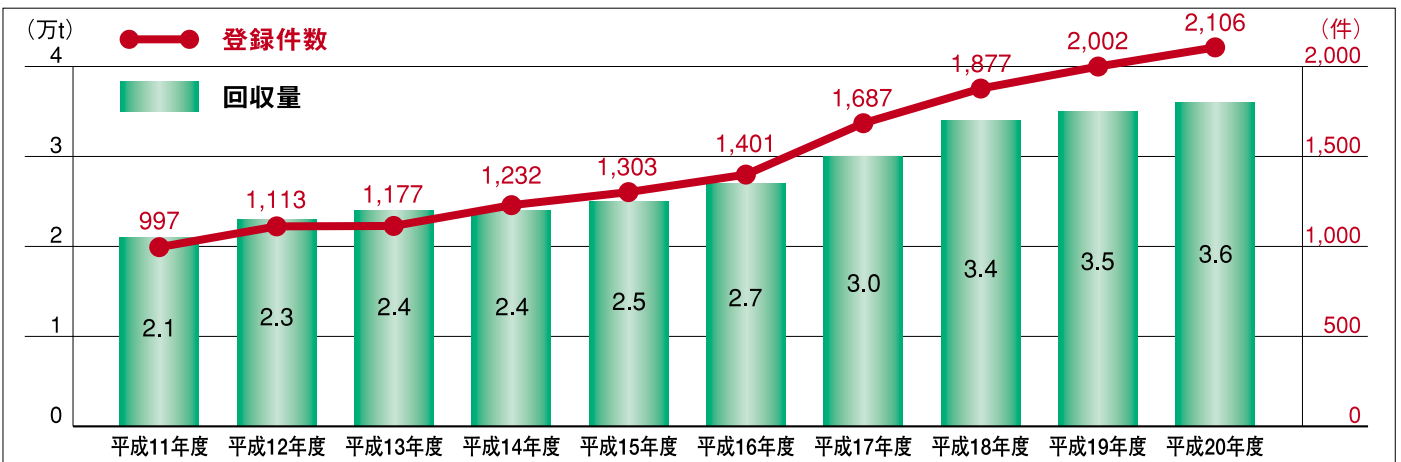
粗大ごみ収集有料化
実施の説明会等

中身の見えるごみ袋による
排出指定導入の説明会等

2 資源集団回収の回収量と登録件数の推移

各住民団体の皆さんならびにごみゼロリーダーの皆さんとの連携・協働した取組により、回収量・登録件数ともに増加しています。

なお、平成21年度からは、奨励金の段階的引き上げなど「資源集団回収活動の活性化」を図りました。（9ページをご参照ください）



資源集団回収について

資源集団回収とは、ご家庭から出る新聞、雑誌、段ボールや古布などの資源物を、町会、自治会、子ども会、女性会、老人会、PTA、管理組合などの住民団体が、ボランティアで回収し、資源回収業者に引き渡す方法です。

大阪市では、集団回収活動を行っている団体に対して、報奨金を支給するなどの支援を行っています。

詳しくは、お住まいの地域を担当する環境事業センターまでお問い合わせください。

皆さんのまちでも「資源集団回収」をはじめませんか

